

「TITLE」2007年1月号（文藝春秋刊、発売中）



AAで書かれた批評は関係者の人の
機嫌ではなく、権力者のある音楽
業界の現状をどうにか叩きつけるた
と期待された。しかし、音楽大
師の一人である山崎の批評は、大
きな反響を呼ぶ。音楽界、芸能界、
文化界、教育界、学生界、関係者
二、三関係、音楽界の各人

TITLE SQUARE 1 MOVIE

7時間半におよぶ証言で描かれる、
ある音楽批評家のポートレート。

with Mitsuru Miyoshi

音楽を語ることは、音楽を言葉
で説明することイコールではな
い。言葉で伝えられない事情、
感情もある。音楽家としての、そ
う人もいるだろう。言葉にたとえ
られてたまるものか。と思うから音
楽家も楽にこもあさだろう。しか
しそれでもそうした音楽を言葉で
解説したい。語ることで音楽家に近
づきたい。言葉に還元してその音
楽家の言葉を多くの人に伝えたい。
批評とは何だろう。と考える人にと
ってこの映画は希望となるかも
しれない。批評の道を歩むやま
っかについて聞きたーあきら。ま
だから「AA」です。金のためのとい

う人がいて、音楽批評を書き、音
楽をプロデュースし、音楽イヴェ
ントを企画運営したりしていた。
関の文章は軽やかで面白いもの
も多かった。しかしそのことで職自
身は間という存在を少なからず意
識的に強く感じようとしていた。と
まがまった。「間はいらない音楽
とどうつき合おうとしていたの
か」と考えることは、自分を律す
ることにつながっていた。
青山真治は間奏に強く影響され
たという。生前の間を知る人々、
関の文章とその存在について考え
ることのある人々も、関と直接
関係のあった音楽家、関について
語るだけでなく、音楽について、
人と音楽の関係について、音楽を

語ることについて、批評行為その
ものについて、この映画はそうし
た語りを集めたものである。関を
を記憶として証言的ではなく、今
なお地球を覆う結果屋敷として探
索してしまつた。その秘密である。
関の関の関の関の関の関の関の関
を記憶として証言的ではなく、今
なお地球を覆う結果屋敷として探
索してしまつた。その秘密である。
関の関の関の関の関の関の関の関
を記憶として証言的ではなく、今
なお地球を覆う結果屋敷として探
索してしまつた。その秘密である。



「AA」音楽批評家（関）。
1979年に出版された関の音楽批評の書籍
「AA」の表紙。関は、東京、1979年11月1日
〜11月11日、青山真治の音楽批評家として
関の関の関の関の関の関の関の関
を記憶として証言的ではなく、今
なお地球を覆う結果屋敷として探
索してしまつた。その秘密である。